

会 議 録

会 議 名	令和元年度第3回山陽小野田市子ども・子育て協議会
開 催 日 時	令和元年11月29日(金) 18時30分～20時15分
開 催 場 所	山陽小野田市役所3階 第2委員会室
出 席 者 (敬称略)	伊藤一統(会長)、古豊和恵(副会長)、長谷川幸恵、村上敦史、 綿貫志郎、佐古幸恵、吉岡智代、松久邦雄、柴田千明、笹村正三、 阿座上修司、草田和枝、有田光枝(13名)
欠 席 者 (敬称略)	小林祥子、佐野太、民繁深雪、平野強、古川努、塩田賢二、篠原孝允 (7名)
事務担当課 及び職員	子育て支援課 川崎浩美(部次長兼課長)、別府隆行(課長補佐)、 野田記代(保育係長)、野村豪(子育て支援係長) 健康増進課 古谷直美(健康増進係長) 株式会社ぎょうせい 木下研究員
会 議 次 第	1 開会 2 議事 1 「量の見込み」の算出について 2 第2期山陽小野田市子ども・子育て支援事業計画の構成(骨子)案 について 3 令和元年度子育て支援課主要施策について 3 その他 4 閉会
配 布 資 料	・第2期「量の見込み」の算出について(資料1) ・第2期山陽小野田市子ども・子育て支援事業計画の構成(骨子)案 (資料2) ・令和元年度子育て支援課主要施策(資料3) ・施策体系図(資料4)
傍 聴 者	なし
概 要	1 開会 ・協議会の公開について決定 ・部次長あいさつ ・協議会成立要件の確認 20名の委員のうち13名の委員が出席しており協議会は成立

2 議事

1 「量の見込み」の算出について

資料1に沿って木下研究員から説明

【主な質疑】

(委員) 資料1の6ページ、教育保育の利用意向率について、表中「現在の利用率(割合)」の項は全て(任意)となっているが、この意味は何か。

(事務局) 利用意向率については、国の手引きでは右欄の利用意向率のみを算定に使うこととなっている。ここの(任意)は参考までに記載しても構わないという意味である。

(委員) 同表の「利用意向率(割合)」はアンケート調査結果に基づいて算出したものか。

(事務局) そのとおりで、アンケート調査結果から出された数字そのもの。誤差率等の修正は今後行う。

(委員) 量の見込みの算出で、山陽小野田市ならではの特性はあるか。

(事務局) はっきりとした特性は出ていない。

(委員) 教育保育の提供区域について、市全域で1地区としているが、小野田地区と山陽地区で分けるという考え方もあるのではないか。

(事務局) 第1期計画において、区域については、児童クラブについては各小学校区としたが、その他は市全域とした。第2期計画についても第1期計画を引き継いでいるので同様としたい。

(委員) 資料1の11ページ、推計人口表で各年代を斜めに見ると人数が増えているが、それだけ転入があるという見込みなのか。

(事務局) 実測値で見ると数字が上がっているのが、仮定でそれだけ転入があると想定して数字を出している。

2 第2期山陽小野田市子ども・子育て支援事業計画の構成(骨子)案について

資料2及び資料4に沿って事務局から説明

【主な質疑】

(委員) 3つの基本的視点と基本目標とのつながりで、「家庭」の視点からつながる基本目標で、「家庭」との言葉が入っていないので取り入れたらいいのではないか。

	<p>(委員) 基本的な視点のうち「子どもの視点」は、子ども自身の目線なのか、子どもをどのようにしたい目線なのか分からないので、何を視点とするのか再考すべきである。</p> <p>(委員) 配慮が必要な子どもと家庭とはどのような子どもと家庭のことを指すのか。</p> <p>(事務局) 虐待を受けている子ども、障がいを持っている子ども、ひとり親家庭などを配慮が必要な子どもと家庭と考えている。</p> <p>(委員) 主要施策の文言が総合計画の文言そのままでは無理がある。この計画のメインは就学前の子どもであるにもかかわらず、学校教育や社会教育の推進に重点が置かれているようで、違和感がある。</p> <p>(委員) 主要施策の「働く子育て家庭の支援」で、「働く」という言葉は必要なのか。</p> <p>(事務局) 「働く」という言葉は、保育所や児童クラブの整備など共働き家庭への支援という意味で付けている。</p> <p>(委員) 基本目標の「子どもたちの未来を地域で支える」で、「未来」という表現は幅がありすぎると感じる。</p> <p>(委員) 基本理念の「共に支え合い」は誰と誰が支え合うのか。その後の文章のつながりも分かりにくい。</p> <p>(事務局) キャッチフレーズ的なものなので文法的には間違っているかもしれない。「共に支え合い」の「共に」は、地域も親もみんなで共に支え合うという意味である。</p> <p>(委員) 基本理念の解説ができるようなものを用意すべき。</p> <p>(委員) 双子や三つ子などの親への支援はあるのか。</p> <p>(事務局) 行政として特別な支援は行っていないし、要望も耳に届いていない。今後、考えていく必要があるが、スマイルキッズで行っている子育て世代に寄り添った支援は、双子や三つ子を持つ親の負担軽減に資するものと考えている。</p> <p>(委員) 基本目標や主要施策の言葉だけが出されてもその言葉だけでは理解が難しい。具体的施策を並べてもらってから考え方が分かりやすい。</p> <p>(事務局) 具体的施策については次回の素案のときに示したいと考えている。その際に見比べていただいて文言の修正等を行いたい。</p>
--	--

	<p>(委員) 他の計画との整合も大事だと思うので、関連が分かるような形で整理してほしい。</p> <p>3 令和元年度子育て支援課主要施策について 資料3に沿って事務局から説明</p> <p>【主な質疑】</p> <p>(委員) 10月からの幼児保育・教育の無償化の影響で事務負担はどのようなになったか。</p> <p>(委員) 保育所では、給食費の徴収が始まったので、その分負担が増えていると感じている。</p> <p>(委員) 無償化に伴って便乗値上げはされていないか。</p> <p>(事務局) 新制度に移行している園については、国が価格を決めているので、値上げはできない。新制度に移行していない園や無認可保育所は自由に価格を決められるが、理由のない値上げはできない。市内では値上げをした事例はない。</p> <p>(委員) 山陽地区保育所整備で、災害への対応策はどのように考えているのか。</p> <p>(事務局) 施設として、当初平屋建ての予定だったところを2階建てとした。また、洪水などについては、あらかじめ気象情報から予想はできるので、登園自粛などの措置をすることとしている。</p> <p>(委員) 児童館が児童クラブに占拠されている現状があるが、今後の児童館のあり方についてどのように考えているのか。</p> <p>(事務局) 言われるとおりの現状であって、児童クラブの充実を優先的に進めている。今後、その方向性を決める必要がある。</p> <p>3 その他</p> <p>(事務局) 今後のスケジュールについて、次回は12月16日(月)、その次は12月26日(木)に会議を開催したい。次回の会議の前に素案を示したい。</p>
--	--